

Tsumagoi Village
つまごい村

発行
令和7年10月15日

第4回臨時会 8月7日

◇工事請負契約の変更を否決 ————— 2

第5回定例会 9月1日～12日

◇令和6年度各会計の決算を認定 ————— 3

◇各委員会の報告 ————— 9

◇一般質問は6人が登壇 ————— 10



第4回 臨時議会

工事請負契約の変更を否決 スロープへの電熱線設置 議決を経ず着工

サーラ嬬恋（旧嬬恋会館）建設工事（電気設備工事）

第4回の臨時議会が8月7日に開催され、新嬬恋会館建設事業に係る専決処分の報告3件及び工事請負契約の変更2件、物品購入1件の計3件について審議を行い、2件を可決、1件を否決しました。

議会無視の 先行着工を問題視

変更内容は、サーラ嬬恋のスロープ部分に融雪用の電熱線を埋設するもので、490万円の増額変更となるものです。

これは、東部小学校側に設置されている「思いやり駐車場」から車椅子利用者等がスロープを使って入館する際、冬場の凍結による転倒リスクがあることを議員が指摘し、凍結対策として提案されたものです。

質疑の中で、当該工事の変更部分にあたる電熱線設置工事が議決前に施工されていた旨の答弁があり、これに大多數の議員が批判しました。

また、電熱線の設置自体を疑問視する意見もあり、採決の結果、反対多数（賛成1、反対10）で否決となりました。

否決された工事請負契約の変更は第5回定例会で専決処分の報告がされています。（関連7ページ）

討 論

反対討論

松本 幸 議員

490万円かけ凍結対策をするのではなく、除雪や塩カルを撒くなどの施設管理で対応できるのではないかな。

下谷 彰一 議員

趣旨としては賛成できるが、当初設計から思いやり駐車場の設置位置をサーラ嬬恋側に設置し、駐車場屋根と本体を一体にすべきだったのではないかな。

賛成討論

大久保 守 議員

既に施工しているということなら、これを通さなければ壊すのかという話になってしまったため、賛成したい。

専決処分の報告

変更契約3件を報告

○サーラ嬬恋（旧嬬恋会館）建設工事（建築工事）

・契約の相手

佐田・渡辺 サーラ

嬬恋（旧嬬恋会館）

建設工事（建築工事）

特定建設工事共同企業体

・契約金額

変更前

11億8360万円

変更後

11億8792万3千円

○サーラ嬬恋（旧嬬恋会館）建設工事（機械設備工事）

・契約の相手

藤田・嬬恋水道 サ

ーラ嬬恋（旧嬬恋会館）建設工事（機械設備工事）

特定建設工事共同企業体

・契約金額

変更前

4億2680万円

変更後

4億2875万8千円

○サーラ嬬恋（旧嬬恋会館）建設工事（舞台設備工事）

・契約の相手

株式会社松村電機製作所 東京支店

・契約金額

変更前

2億5740万円

変更後

2億6213万円

物品購入1件を承認

○サーラ嬬恋 一般家具・什器備品購入

・契約の相手

フジコー株式会社

・契約金額

1811万7千円

変更契約1件を承認

○サーラ嬬恋（旧嬬恋会館）建設工事 外構工事

・契約の相手

大久保産業株式会社

・契約金額

変更前

5142万5千円

変更後

5823万4千円

第5回 定例会

※本文中の金額は、表示単位未満を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。

特別会計決算

会 計 名	歳入決算額	歳出決算額
国民健康保険特別会計 (事業勘定) (直営診療所施設勘定)	15億3,911万円 2,698万円	15億528万円 2,698万円
介護保険特別会計 (介護事業勘定)	10億1,486万円	9億1,053万円
後期高齢者医療特別会計	2億937万円	2億937万円
	27億9,032万円	26億5,216万円

公営企業決算

会 計 名	収入 済 額	支出 済 額
簡易水道事業 (収益的) (資本的)	1億3,622万円 1億616万円	1億2,708万円 1億5,172万円
上水道事業 (収益的) (資本的)	1億8,907万円 1,105万円	1億2,878万円 3億4,160万円
下水道事業 (収益的) (資本的)	5億98万円 3,917万円	4億5,415万円 2億3,298万円
	9億8,265万円	14億3,631万円

決算審査

※質疑応答の一部

問 村税の不納欠損に
おける前年度との比較
は。

答 令和6年度の村税
全体の不納欠損が33
2万3120円で昨年
度より102万739
6円の減となっており、
村税の収納率は0・14
%増となっている。

一般会計歳入

問 普通交付税が1億
4625万7千円の増
となっているが要因は。
答 基準財政需要額が
増加したことによる。
主な内容は、こども子
育て費の新設や光熱費
の高騰、会計年度任用
職員への勤勉手当支給
により自治体の負担増
が考慮され、包括算定
経費の算定基礎が増加
したことによる。また、
過疎債と辺地債の償還
額が増加したことによ

り交付税の参入枠が増
加したことが主要要因
となっている。

問 入湯税が前年度比
500万円ほど減額と
なっているが要因は。

答 鹿沢地区以外の全
ての地区で減少となっ
ている。
特に万座地区におい
ては、12月から2月ま
での冬期の入り込みが
大きく減少している。

一般会計歳出

○総務費

問 上田地域定住自立
圏において行われてい
る婚活支援事業につい
て、マッチングした実
績が報告されている。
実績があるようであ
れば、実施回数を増や
すなど検討されてはど
うか。

答 担当者会議の中で
提案したい。

○農業費

問 嬬恋農業のイメー
ジアップ補助金が支出



誕生祝い品「玉菜」

されており、内容はテ
レビのCM放映による
消費宣伝だが、情報を
得る媒体は時代が代わ
りテレビからネットへ
移行している。宣伝方
法の転換を提案されて
はどうか。

問 木育推進事業の今
後の展開は何か検討さ
れているか。
答 イベントの開催や
誕生祝い品の配布を行
っている。始めたばか
りの事業でもあるため、
今年度、関係者と協議
をする場を設け、検討
していく予定である。

監査委員から令和6年度決算について報告がありました**一般会計について****(1) 総括**

令和6年度一般会計の決算は、歳入総額93億2,635万8千円（前年度比7.4%増）、歳出総額87億2,599万1千円（前年度比10.8%増）となり差引6億36万7千円の黒字決算であった。翌年度へ繰り越すべき財源2億550万6千円を差し引いた実質収支では3億9,486万1千円で、この実質収支から前年度の実質収支6億1,790万3千円を差し引いた単年度収支は2億2,304万2千円の赤字となった。

(2) 審査意見

一般会計における歳入総額に占める財源割合については、自主財源が34億7,986万2千円の37.31%、依存財源が58億4,649万6千円の62.69%となり、自主財源は前年度比4.88%減となっている。

自主財源の根幹となる村税の収入済額では、前年より0.16%増でほぼ横ばいとなっているが、滞納整理における債権差押え等の実績は512件で前年より276件増となっている。今後も税負担の公平と財源確保の観点から、積極的に徴収業務を遂行されることを期待する。

ふるさと納税「愛する孺恋基金」については、近年寄付者及び寄付額が増加している一方で、中間事業者との契約により費用の割合も増加している。ふるさと納税に係る事務経費の基準を順守しつつ、歳入の確保はもとより、観光や産業の振興を図る上でも有益なことから、今後もふるさと納税を活用した財源確保に向けた取り組み及び対策の強化を要望したい。

今後計画される役場庁舎等の公共施設建設のためにも、また将来にわたり安定した質の高い行政サービスの提供のためにも、事業の精査や見直しを行うとともに、一層の歳入確保に向け、創意工夫をもち積極的に推進するよう期待したい。

歳出においては、令和7年10月開館となるサーラ孺恋建設関連予算や物価高騰に対する住民負担軽減策など、緊急かつ重要な事業により歳出が増加となった。

今後も物価やエネルギー価格の高騰が続けば、村の財政はさらに厳しさを増すことが予想される。このような状況下、限られた財源を最大限に活用し、多岐にわたる行政課題に対応していくためには、より一層の行財政運営の効率化が求められる。

一般会計の財政比率について、財政構造の弾力性を示す経常収支比率は91.0%と前年度より1.0%上回った。70%以下を目標としていることから、引き続き歳入の確保と経常経費の削減に努める必要がある。

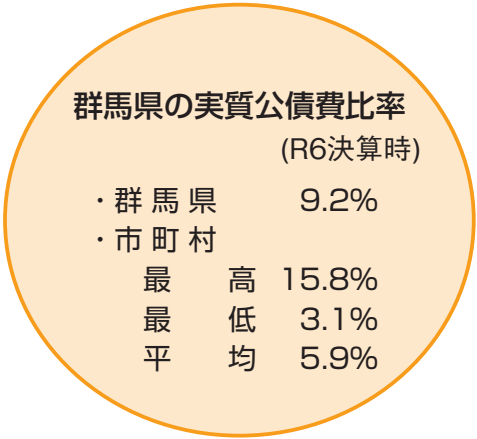
財政健全化法に伴う実質公債費比率は10.5%と前年度より0.2%下回った。目標とする15.0%以内であり努力がうかがえるが今後も地域経済の活性化を図りつつ、将来住民に負担を強いることのないような財政運営を求める。

●令和6年度決算における健全化判断比率

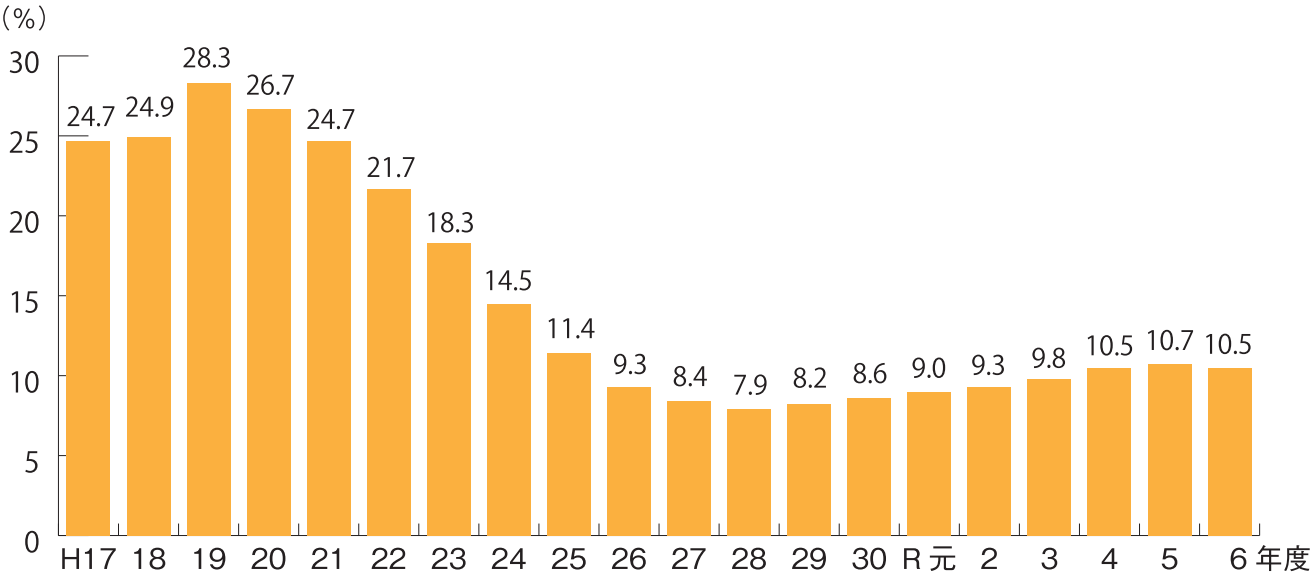
	令和6年度	令和5年度	早期健全化基準
実質赤字比率	-(赤字なし)	-(赤字なし)	15%以上
連結実質赤字比率	-(赤字なし)	-(赤字なし)	20%以上
実質公債費比率	10.5%	10.7%	25%以上
将来負担比率	-(赤字なし)	-(赤字なし)	350%以上

- ①実質赤字比率とは...普通会計の赤字額が標準財政規模に占める割合
②連結実質赤字比率とは...全会計の赤字額が標準財政規模に占める割合
③実質公債費比率とは...普通会計が負担する実質的な負債額が標準財政規模に占める割合、3力年の平均
④将来負担比率とは...普通会計が将来負担すべき実質的な負債額が標準財政規模に占める割合

実質公債費比率
10.5%に



●実質公債費比率の推移



■令和7年度 一般会計補正予算を承認■

会計名	補正額	総額	主な内容
一般会計	2億7,513万2千円	87億5,729万6千円	嬭恋高等学校活性化対策事業 780万円
			財政調整基金積立金 1億9,743万円
			緊急路面維持修繕事業 2,000万円
			災害対策事業 1,072万円

問 嬭恋高等学校活性化対策事業780万円が計上されているが内容は。
答 昨年度も全国募集する生徒受け入れのため、村営住宅（芦生田80A棟）の2戸を改修した。昨年度改修分については、スケート・スキー選択の生徒が入居している。現在行っているオープンスクール等の感触から、未来留学による数名の入学が予想されるため、村営住宅（芦生田80A棟）の2戸を改修し、生徒の受け入れ先を整備する。

問 決算剰余金から財政調整基金積立金1億9743万円が計上されているが、積立後の基金総額は。
答 令和7年度末で11億3600万円を予定している。

質疑

議会が否決した 工事請負契約の変更を専決処分

第4回議会臨時会で

否決されたサーラ嬬恋
（旧嬬恋会館）建設工
事（電気設備工事）の
工事請負契約の変更に
ついて、第5回議会定
例会において専決処分
の報告がありました。

議員からは、「村長に
おいて専決処分するこ
とができる事項の範囲
内であるが、一度議会
で提案され、否決とな
った案件。法的に問題
がなくても、道義的責
任・政治的責任はある
のではないか」などの
意見が出され、三役か
らそれぞれ次のように
発言がありました。

村長

深く責任を感じてい
る。今回を機に今後は
より一層、予算や事業
の内容についてしっか
りと議会と協議をし、
進めてまいりたいと思
っている。

副村長

当初、議会へ丁寧
に説明すべき案件と判断
し、専決処分ではなく、
議案での提出とした。
結果的に混乱を招い
てしまったことに關し
て、非常に申し訳ない
と感じている。

教育長

ご迷惑、ご心配をお
かけし大変申し訳なく
感じている。
事前に細かな説明を
行い、理解をいただく
必要があったと感じて
いる。

専決処分とは

村長が議会に代わっ
て意思決定を行うこと
です。専決処分をすれ
ば、議会が議決したの
と全く同じ法的効果が
発生します。

この専決処分には、
2つの場合があります、

1 地方自治法の規定
によるもので、緊急を
要し、議会を招集する
時間的な余裕がないと
き等に専決処分するこ
とができます。

これにより専決処分
をした場合は、次の議
会において、報告し、
承認を求めなければな
りません。

2 議会の委任による
もので、あらかじめ議
会が指定した少額の契
約変更（契約金額の10
分の1以内。ただし、
その額が500万円を
超える場合は除く）な
ど、軽易な事項につい
て迅速な処理を図るた
めに行われます。

これにより専決処分
をした場合は、議会の
承認は不要で、報告の
みとなります。

今回の専決処分は、
2の議会の委任事項に
よる範囲内での契約変
更になります。

専決処分の報告

変更契約2件を報告

○サーラ嬬恋（旧嬬恋
会館）建設工事（電気
設備工事）

・契約の相手

JESCO SUGA

YA・三原電業電気
設備工事特定建設工
事共同企業体

・契約金額

変更前

2億1219万円

変更後

2億1709万6千円

○サーラ嬬恋（旧嬬恋
会館）建設工事（建築
工事）

・契約の相手

佐田・渡辺 サーラ
嬬恋（旧嬬恋会館）
建設工事（建築工事）
特定建設工事共同企
業体

・契約金額

変更前

11億8792万3千円

変更後

11億9216万9千円

嬬恋村教育委員会 委員の任命同意

任期満了に伴い、再
任することに同意しま
した。

○氏名

松本 淳子 さん

○任期

自令和7年10月12日
至令和11年10月11日

請負契約の締結

物品購入1件を承認

○可搬消防ポンプ付き
ワンボックス型積載車

・契約の相手

温井自動車工業株式
会社

・契約金額

2513万5千円



完成したサーラ嬬恋

全員協議会

今回の定例会で提案された議案の審議及びサーラ嬬恋建設工事の進捗状況などについて協議しました。

サーラ嬬恋建設工事の進捗状況

教育委員会事務局より、「本体工事、太陽光蓄電池、地中熱設備工事については、8月29日に引き渡しとなり、外構工事は現在施工中、備品関係については9月19日納品予定となっている。

引越作業は9月中旬から行い、10月1日竣工式開催に向け進めていく。

事業費は、8月31日現在で本体工事、外構工事・備品関係、設計監理の合計で23億242万5千円となっている」と説明がありました。

機械運転時の振動

音を防ぐため、地下室に防振対策を施したと聞いたが検査時に確認はされたか。

〔答〕 7月15日に音響測定を行っており、機械運転時の振動音が音響へ影響しないことを確認している。

改正鳥獣保護管理法に基づく緊急銃猟制度

農林振興課より、「クマやイノシシによる人身被害増加が社会問題化しているなか、迅速かつ安全な対応の必要性が高まり、国において制度化されたものになる。

クマやイノシシが人間の生活圏に出没した場合、市町村が条件付きで銃猟を許可できるものとなっている。

まずは、捕獲を行うためのマニュアル等の作成や装備品等を早急に整え、体制整備を進めたい」と説明がありました。

〔問〕 安全性確保のため通行規制や避難喚起等を行うとしているが、現在の農林振興課の体制で実施可能なのか。

〔答〕 状況にもよるが他課からの応援が必要な場合もある。それらも含め、マニュアル化していきたいと考えている。現場によって状況は違うが臨機応変に対応できる体制を整えていきたい。

事務事業評価

未来創造課より令和6年度の事務事業評価について説明がありました。

〔問〕 少子化対策事業は重点化事業とされているが決算額は17万5千円と少額になっている。今後の考えは。

〔答〕 現在は結婚新生活支援補助金が主になっている。決算額は少額だが村としての重点課題であり、少子化対策は引き続き検討していきたい。

きたい。

〔問〕 観光情報発信事業も同様に重点化でありながら少額の決算となっているが考えは。

〔答〕 観光情報については、村のホームページと観光協会のホームページで情報が乱立している部分がある。今年度中に観光分野に関しては、観光協会へ一本化したい。

また、世代により情報を取得するメディアは異なるため、各世代に合わせた発信をしていきたい。

未来技術社会実装事業の進捗状況

嬬恋村DX戦略官の日高氏より、「基盤インフラの整備としてRTKアンテナの設置を進めており、9月末までには設置が完了する予定。設置後、嬬恋村ドローン推進協議会と連携し、運用フロアの調整を行い、準備が整い

次第、テスト運用を開始する。

また、吾妻農業事務所が主催するスマート農業勉強会にて、実用性向上と運用検証を進めていく。

農業分野の実証準備については、トラクターの自動運転や農地の生育管理など、社会実装に向けての準備を進めており、農業・食品産業技術総合研究機構と連携し実証実験の内容を検討している。

災害分野については、防災科学技術研究所と協力し、実験を実施しており、技術的な検証

を行っている。

また、10月12日の防災の日に行われるイベントにおいて、大型ドローンを用いた実証訓練を計画している」と報告がありました。

総務課より、「今年度採択となった新規事業、内閣府の第二世代交付金の獲得を目指し、本格的に来年度から動き出したい」と説明がありました。

そのほか、未来創造課より「嬬恋村統計書（令和6年統計調査結果）」「JR吾妻線」「青山国有林」について

住民課より、「吾妻郡一般廃棄物処理施設の進捗状況」について

建設課より、「上信自動車道嬬恋バイパス」について、観光商工課より、「バラギ温泉センター湖畔の湯」について、それぞれ説明がありました。



RTKアンテナ(第4分団詰所屋根)

問 今回の件を反省し、議会、執行部との意見交換の機会をより多く持つことを切に願う

村長 皆様にご心配とご迷惑をおかけしたことを深くお詫びする

一般質問



伊東 正吾 議員

温暖化対策

問 今年は例年になく猛暑でエアコンなしで

は辛い夏だった。近い将来、熱中症の頻発、また、生活様式の変化も余儀なくされるのではないか。

この地球規模の温暖化に対し、村民の生命を守るための予防策は考えているか。

答 村長 昨年来、各地区の公民館や集会施設にエアコンを設置している。

熱中症対策については、熱中症対策が義務化されたことに伴い、村のホームページや広報において、制度の概要や予防行動について周知している。

熱中症のリスクが高い高齢者などへの効果的な情報提供方法や公民館等のクーリングシエルトーとしての活用についても検討していきたい。

問 温暖化による一次産業への影響はまだ大きくはないが行政としてできる対策はあるか。

答 村長 作物への影響は予想されるが、村としての対応は難しいため、関係機関と情報共有し、将来を見据え、高温耐性品種の開発や栽培時期の調整、キャベツ以外の野菜・果樹等の栽培も視野に入れた方策を検討していかなければならないと考えている。

問 温暖化の影響を受けているとはいえ、本村はほかの地域より涼しく、この自然環境が売りの三次産業は来訪者が増加傾向にある。さらに活性化できる方策を考えているか。

熱中症対策については、熱中症対策が義務化されたことに伴い、村のホームページや広報において、制度の概要や予防行動について周知している。

答 村長 8月の入込客数は涼を売りにかなりの集客があった。しかし、安定した雇用が確保できないことなどから、稼働部屋数を減らして営業する施設も多いと聞き及んでいる。

夏のお客様に対し、他の季節にリピートしていただけるような施策を地域ごとに検討したい。

問 温暖化による火山、河川、傾斜地の災害時の対策はされているか。

答 村長 本村では、地域防災計画の策定、ハザードマップや災害時の職員応急対応マニュアルを整備し、住民周知と職員対応により災害時に備えている。

今後は、最新の想定降雨等を反映させた、数年ごとのハザードマップの改定や応急対応マニュアルの実効性強化、また、個別避難計画を現場で機能させることや自主防災組織の訓練等により、住民参加と実践を強化し、作成済から運用・実践へ進めていくことが必要と認識している。

サーラ嬭恋追加工事専決の件

問 8月8日の新聞記事で、サーラ嬭恋の追加工事が臨時議会です決されたことが報道され、本定例会において、当該工事を専決したことが報告された。手法としては認められているものの、社会的道義に反するとして、批判を受けるのは当然と考える。

報告の中で、三役から謝罪があったものの、村長が村政の一から十までは把握していないと発言されたことは残念に思う。公務多忙なことは理解するが、村政を預かる立場として、村民の生活を第一に考えていただきたい。

私たち議員も今回の件を反省し、議会、執行部との意見交換の機会をより多く持つことを切に願う。

答 村長 今回の追加工事の変更契約は、村長が専決処分できる範囲内の金額であったが、関連する外構工事が議案として提出する予定だったため、当該工事についても議会に提出し、丁寧に説明すべきと判断した。

しかしながら、否決の結果を受け、庁内で協議し、専決処分での対応とした。

皆様にご心配とご迷惑をおかけしたことを深くお詫びする。

今後は、専決処分と議会案件の取り扱いを正しく理解し、疑義が生じないよう業務を遂行してまいりたい。

また、ご指摘の意見交換の機会については、業務を進めるうえで大変重要だと考えている。今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



一般質問

問 公共施設再編の見直しや今後建設を目指す役場庁舎等の規模や複合化等について今から検討をスタートすべきと考えるが



下谷 彰一 議員

村長 まずは財源の見通しをしっかりと立て、必要な機能や規模を精査しながら、段階的に検討を進めたい

少子高齢化時代に
向けた村政の対策
について

問 国は「地方創生の基本構想」で、関係人口を可視化し、居住地以外の地域に継続的に関わる人を「ふるさと住民」として登録し、今後10年間で1000万人、延べ人数1億人の創出を目指すとしている。

答 関係人口についてどのように考えているか。
村長 本村では、企業版関係人口創出事業を展開しており、現在、3つの団体の事業を採択し、民間企業と連携しながら地域課題の解決を目指す取り組みを行っている。

そのほかの事業展開については、庁内でもどのような事業が効果的なのか精査しながら実施していく必要があると考えている。

問 今年3月に庁内に設置された「少子化対策プロジェクト会議」の進捗状況について伺う。

実施事業の効果検証と各課の課題を共有することは大切である。

新規事業を含め、今後どのように連携し少子化対策に取り組むのか。

答 村長 出産可能な女性人口が少ないことが少子化の要因の一部としてあると考えており、本村においては、「婚活支援事業」を実施しているが、個人の価値観や、経済的不安等、考え方が多様化しているため募集方法や事業の実施については検討が必要と考えている。
このほか、子育て支援の観点で事業展開すること、これまで以

上に子育てしやすい村として発信できるのではないかと考えている。

問 本村は、令和17年から65歳以上の老年人口の割合がトップとなり、本格的な高齢化社会を迎える。

そこで、人口減少の速度を抑えるためにはこの世代の「健康寿命」を延ばす対策が重要となる。どのような取り組みをされているか。

答 村長 令和6年3月に計画を策定し、「平均余命の延伸分を上回る健康寿命の延伸」を基本目標に掲げ、様々な健康増進対策に取り組んできている。

具体的には、健康診断を受け、受診が必要となった方への受診勧奨、保健指導や健康教育、運動不足への対策として運動教室や啓発、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業等を実施している。

問 生産年齢人口の減

少は、税収の低下や労働力不足等による村の経済への影響が心配される。

そこで、若者の働く場の確保を検討していくべきと思う。

企業誘致は難しい状況だが、将来に向けてどのような考えがあるか。

答 村長 企業誘致については難しい状況だが、機会があればアブローチも考えたい。また、企業誘致にとらわれず、リモートワークやサテライトオフィスなどの仕事の場所にとられない働き方の支援をし、若い世代が村で働き暮らせる環境づくりを進め、将来に希望を持てる村づくりを推進していきたい。

問 村の公共施設等総合管理計画では、人口減少や社会経済状況の変化により公共施設の必要性や在り方が大きく変化している。そこで、公共施設再編の見直しや今後建設

を目指す役場庁舎等の規模や複合化等について今から検討をスタートすべきと考えるがいかがか。

答 村長 将来を見据えた検討は重要な課題であると感じている。しかしながら、本村の財政状況は依然として厳しく、拙速に結論を出すことは将来の村民負担を増大させる恐れがある。

そのため、まずは財源の見通しをしっかりと立て、必要な機能や規模を精査しながら、段階的に検討を進めたい。

問 ストックヤードが来年度から工事着手になると報告があった。青山の土地の活用も含め、雇用の場の創出に取り組みべきと考えるが。

答 村長 青山の活用については、上信道も含め、しっかりとしたブランドデザインを作っていくきたい。



問 ゴミや騒音問題、無許可営業などに対する条例や要綱等を制定する考えは

一般質問

住民課長 嬬恋村に許可・届出受理の権限がない。現在のところ条例や要綱の制定は難しいと考えている



伊藤 洋子 議員

令和6年度決算について

問 令和6年度一般会計の実質収支額が3億9千万円で健全な財政運営に努めたとのこと。予算提案の際に、各事業を効率的に執行することにより、人口減少をできる限り抑制し、豊かな暮らしと全村民が健康で活躍できる社会の実現に向けて取り組むと説明がされた。これらの実現のため、全課でどのような取り組みを行ったのか。

答 村長 事務事業評価、評価できる点、不十分だった点、次年度に引き継ぐ点は協議されたのか。

価を活用し、年度ごとに事業の目的・効果・実施状況等を整理・評価することにより成果が見える形で事業運営を行っている。

この評価を踏まえ、効果的に執行できた点として、住民サービスの向上や地域経済振興への寄与など、一定の成果があったと確信している。

一方で、事業目標の一部において成果指標が想定を下回った部分や今後において改善策の検討が必要な部分も見受けられた。

これらの点は、事務事業評価を通じて、議会への報告や庁内で共有することで、次年度以降における展開方針として、効率化、簡素化等の改善策や重点施策として反映させている。

JR吾妻線を守る決意と具体的な取り組みについて

問 村長は常日頃から吾妻線を守ると発言されている。現在の協議会は任意という位置づけだが、今後、法定協議会に進むと後戻りはできない。

今こそ、村全体で吾妻線を守る取り組みが必要である。

JR吾妻線を守る決意を伺う。

答 村長 村民・観光客の皆様にとって重要な交通手段という認識があり、存続してもらいたいと考えている。

問 渋川・吾妻地域在来線活性化協議会との取り組みに対する村長の考えは。

答 村長 この協議会は渋川・吾妻地域の活性化の取り組みとなるため、長野原草津口・大前間での取り組みとはならないところもあるが、協議会とも一体となって活性化策に取り組んでいきたい。

民泊・貸別荘営業への具体策を求める

問 6月議会定例会で質問を行った民泊・貸別荘に対する問題への対応について、何か実施されたことがあるか。

答 住民課長 現在までに実施した対策はない。

問 民泊や貸別荘の数を調べたが実数と乖離がある。県と協力し、事業者へ指導してはいるか。

答 住民課長 作成、配布することは可能かと考えている。

答 住民課長 宿泊事業経営を始めるためには、旅館業法に基づく許可または住宅宿泊事業法に基づく届出が必要とされる。いずれも群馬県知事へ提出することになっており、許可するのも群馬県で、市町村の権限に及ばないものである。そのため、村としてはとるべき対策がないのが現状である。

問 今年、嬬恋村の涼しさを求め、例年より多くの方が別荘地に訪れ、民泊や貸別荘の利用も多く見られた。ゴミや騒音問題、無許可営業などが今後広がる懸念があり、早期に対応が求められる。条例や要綱等を制定する考えは。

答 住民課長 許可や届出は群馬県知事を行うこととされており、村が許可、届出を受理する権限はない。

事故や事件が疑われる場合は警察へ通報し

現在、条例や要綱の制定は難しいと考えている。



一般質問

問 インフラの維持、修繕整備が必要となってくる。 上下水道については、村民に協力を求めるのか

村長 人口減少を考慮した料金収入と今後必要な施設の更新費用の算出により、適正な料金体系のシミュレーションも行っており、その内容を踏まえ、検討を行っていききたい



大久保 守 議員

財政について

問 令和5年より建設

が始まったサーラ嬭恋は、右往左往したが10月1日竣工を迎える運びとなったが、建設費の高騰により、多額の借金がのしかかることになる。

嬭恋村では、国営パイロット事業、下水道事業、学校再編の事業により財政難となった

時期があったが、当時の執行部が苦渋の思いで財政計画を作成し、職員や各事業所等の予算縮小により立て直してきた経緯がある。

現在、村債は全体でいくらか。また、その内、補助金として見込める金額はどの程度か。

答 村長 令和6年度

末の一般会計における地方債残高は、68億39万4千円で、この内、交付税措置が見込まれる金額については、一概に算定することは困難だが、令和6年度決算においては、元利償還額の7億3040万円の内、5億3144万6千円（償還額の72.8%）が交付税措置されている。

問 この先、インフラ

の維持、修繕整備が必要となってくる。上下水道については、村民に協力を求めるのか。

答 村長 簡易水道、

下水道も昨年度から公営企業会計となり独立採算が原則となった。一般会計からの補助金で黒字化している状況であり、総資産に対し

収益が極端に少なく、今後計画的に施設の更新工事を行っていくには資金不足は明らかである。

現在行っている上下

水道事業経営戦略の見直しでは、人口減少を考慮した料金収入と今後必要な施設の更新費用の算出により、適正な料金体系のシミュレーションも行っており、その内容を踏まえ、検討を行っていききたい。

問 以前、近隣の町の

水道料が日本一高いとされたこともある。そのようなことがないようお願いしたい。

答 上下水道課長 過

去にも水源確保や石綿管更新、経営改善という理由で数度見直しが行われてきた。

今後、事業継続を前提に料金を見直すこととなるが、施設の縮小や統廃合、補助事業の活用、DXを取り入れた効率化等、広範囲にわたり検討を行いたい。

問 令和6年度決算で

は、3億9486万円の繰越があった。3月時点で実質収支額はなかったはずなのに、な

ぜこの金額をつまごいまつり等に使えなかったのか。

答 村長 次年度予算

編成に当たっては、2月中旬には予算案を取りまとめている。一方で、前年度の決算における繰越額については、行政の支払いが3月から5月にかけて集中する

ため、歳出の確定や精算により繰越額がどの程度になるか、予算編成時点では正確に把握することが難しい。

こうした状況のもと、当初予算編成の段階では繰越額を見込んで積極的な事業展開を行うことは財政運営上リスクが高く、健全な財政管理の観点からも困難である。

今後は、決算見込みの精度向上や財源確保の工夫を含め、できる限り住民の皆様の楽しみや期待に応えられるよう、検討を重ねてまいりたい。

人工透析通院費について

問 本村には、腎臓機

能障害による人工透析で通院され、通院費の補助を受けている方がいる。だが、補助を受けるにはいくつかの条件がある。

透析を受けられる病院も少なく、遠くまで通院しなければならぬ。

透析患者の通院費に對してどのような考えか。

答 村長 腎臓機能障

害者等通院助成制度により、通院費用の一部を助成している。

チョイソコつまごいにおいても、透析実施医療機関である櫻井医院が停留所となっており、障害手帳をお持ちの方も利用できる制度となっている。

現行制度の周知と利用促進に努めたい。



問 村への愛着を育み、人口減少対策にもつながる。負担金を理由に応募できない生徒を防ぐため、適切な負担金設定の検討を

教育長 検討していきたい

一般質問



松本 幸 議員

中学生座間味村交流事業

り4万円としている。

問 座間味村交流事業に係る事業費の総額は、

答 教育長 事業費総額は211万1562円であった。今年度は、突発的な行程変更が生じ、通常の行程に比べ、90万円ほど増加となっている。

問 この事業は平成14年から行われてきた事業である。海外交流派遣事業は近年受け入れファミリーの調整がつかず、中止となっており、現在、中学生の派遣事業は座間味村のみとなっている。

問 派遣生徒の選出方法は、

答 教育長 中学校にて応募のあった生徒について、日常の学習態度、学級活動の積極性、部活動への取組等を考慮し面接を行い、併せて、応募作文等を参考にして、男女推薦該当者を校長が教育委員会へ推薦する。

答 教育長 応募人数は男子8名、女子8名の計16名で、その内、派遣生徒は、男子6名、女子6名の計12名だった。

問 教育委員会は、校長からの推薦者について可否の確認を行い、「可」とした男女別の生徒数が、男女それぞれの派遣可能人数を上回る場合は、参加希望者及び関係者立ち会いの下で、抽選により派遣者を決定する。

問 応募生徒数が上回った際、派遣可能人数を増やす選択はなかったのか。

答 教育長 10年ほど前には1名だけ抽選により派遣できなかったこともある。派遣人数を定め募集していることや、座間味村の受け入れ側の問題、教育的な観点からもそこを変えられないと考えている。

問 冬期交流で座間味村から中学生が派遣されると思うが何名来ているのか。

答 教育長 本年度は12名を予定している。

問 生徒の負担金は、

答 教育長 一人あたり4万円としている。

問 この派遣事業は単なる思いづくりにとどまらず、将来、嬭恋村に生まれてよかったと地域に愛着を感じてもらえることで、長期的には人口減少、少子高齢化対策にもつながると考えている。

答 教育長 今後、検討していきたい。

問 小学校の夏休み中のプール利用の人数が少ないとの意見を保護者から聞くが現状をどうしているのか。

答 教育長 夏休み中のプールの開放は、子ども達の安全な遊び場や泳力向上、体力づくり等に役立つが、近年、いくつかの課題が指摘されている。

猛暑による熱中症対策や登下校の安全対策、水質や水温、気温の管理、指導者及び監視体制等がある。

このような課題を背景として、近年では、多くの小学校における夏休み中のプールの開放について、縮小や廃止

を含めた慎重な対応が顕著に見られる。本村小学校の現状だが、東部小学校については本年度から学校としてのプールの開放は行っていない。

主な理由としては、群馬県小学生水泳記録会の廃止に伴い、吾妻郡小学生水泳記録会が廃止となったことから校内での水泳強化練習を行わなくなったことと社会教育との連携で村民プールとして東部小のプールを開放しているため。

西部小学校については学校のプールの開放は全8日間、各学年4日間となっている。

徐々にプールの開放日数は減少傾向にあるのが現状で、その背景には、水泳強化練習の廃止や危険な暑さの増発、感染症リスクの回避、スクールバスの調整困難、活動時間の制約、教職員の多忙化解消などが主なものとなる。

※質問・答弁は要約して掲載しています。二次元コードから全体版の動画を視聴いただけます →

視聴にあたっては、嬭恋村議会ホームページ上の注意（免責）事項をご一読ください



一般質問

暑さからの避難を望む人達をターゲットにした移住の宣伝が必要と考えるが



大野 克美 議員

村長 朝晩の過ごしやすさを体験するツアーの企画や嬬恋村と東京都の気象データによる比較なども行いながら、嬬恋村の魅力を発信していきたい

外国人移民について

問 前回の参議院選挙では外国人との共生が大きなテーマとなった。市区町村の外国人の占める割合が10%を超えると地元住民との文化摩擦が生じるとされている。

答 村長 相互理解の促進、円滑な意思疎通の確立、相談・支援体制の整備等があげられ、

具体的にはイベント等を通じた交流機会の提供、日本語教室開催による日本語能力向上の支援、庁内における各課間の連携強化による問題の早期解決を図る体制の整備等により、問題発生への備えとしてまいりたい。

問 外国人と上手く付き合うことについて、現在どのような問題が現場で起きているか。

答 交流推進課長 在住外国人の増加に伴い、戸惑いや不安を感じられている方がいることや、雇用主からは地域と関わる機会がなかなか持てないとの声がある。

上手く付き合っていくには相互理解が不可欠であり、そのために日本語学向上に対するサポートや交流機会の提供を行い、相互理解の促進や問題の未然防止に努めてまいりたいと考えている。

問 不法滞在等の問題は生じているか。

答 総務課長 本村においては確認されていないが引き続き、治安や安全確保の観点からも警察等との連携を密にし、情報交換や必要に応じた対応を図ってまいりたい。

問 農業分野における外国人労働者の問題は、

答 農林振興課長 現状としては特に問題はないと聞いている。

問 グランドデザイン策定の中で外国人に関する課題に対し、庁内横断の組織をつくる考えはあるか。

答 副村長 必要であれば関連する各課で横の連携をとり、ミーティング等を積極的に行っていくたい。

嬬恋村を日本の最高の避暑地に

問 天候異変の問題が大きく取り上げられて

おり、特に線状降水帯発生による水害が頻発している。

群馬県でも気温が上がり、外で働くことが辛くなったり、夜もクーラーがなくては寝られない日が続いている。気温の上昇に伴う嬬恋村の観光業への影響についてどのように考えるか。

答 村長 すでに真夏に関しては集客があり、周辺の避暑地も含めオーバーツーリズム気味の飽和状態が続くことが予想される。

また、暑さが落ち着く9月から11月にかけて賑わう他地域の大手キャンプ場などから涼しい嬬恋村へのシフトがあるかもしれないと考えている。

答 村長 令和元年度から空き家バンクを開設し、これまで高い成約率で推移してきた。

また、今年度新たに取り扱い事業者が2社追加となり、現在合計6社でバンクの運営を行っている。

今後、取扱事業者との意見交換を通じ連携を強化しながら、不動産の活性化にも繋がる取り組みを進めてまいりたい。

次に、移住の宣伝については、嬬恋村が避暑地であることについても一定程度認知されていると考えているが夏の冷涼な気候に特化した情報発信が十分でないと感じている。

今後、朝晩の過ごしやすさを体験するツアーの企画や嬬恋村と東京都の気象データによる比較なども行いながら、嬬恋村の魅力を発信していきたい。

問 農業、観光に続き、不動産業を育てていく必要がある。暑さからの避難を望む人達をターゲットにした移住の宣伝が必要と考えるがいかかがか。



名古屋市中
央卸売市場
北部市場・本場を視察

今年も慣例になって
います議会の市場視察
で、8月21日、22日の
二日間、名古屋市中
央卸売市場へ行ってき
ました。

議員全員と村から村長、農林振興課長、議会事務局、JA孺恋村より組合長と計16名の参加でした。

議会の市場
視察は、何十
年も前から行
われている視
察で、「村の基
幹産業である、
キャベツの生
産出荷を村行
政もバックア
ップすること
で、安心安全
を安定的に約
束できる産地
です」と市場
に思ってもら
うことをコン
セプトとして



着荷状況視察

います。

今回の名古屋青果（株）との意見交換会で出た意見として、

- 少子高齢化社会による人口減の進行により、消費が減少している
- 以前は高価なのでカット売りをしたのだが、安価なのにカットしな



名古屋青果(株)会議室での意見交換会

変化により、マーケットも変化しているので、産地生産者もそれに伴い、色々な策を考えていく必要があるのではないかと感じました。

特に価格
は需要と供
給とのバラ
ンスが基本
なので、販
路の増と出

荷数量のコントロール等が、J A・商系を問わずに必要なと思っています。

消費者にとって、どちらも孀恋村のキャベツなのだから。

産業建設常任委員会
委員長 松本 幸

- 若者が料理をしなくなった Ⅱ 一次加工品の増加
- 外食産業の輸入量が增加している Ⅱ 主に中国産
- 業務関係の増量
- 出荷数量のコントロール
- 販路の増
- 多品目にもチャレンジ

などの話が出ましたが、重要な事は社会の

議案の審議結果

議案名	議員名等			賛成	反対	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	黒岩 智未	土屋 哲夫	伊東 正吾				下谷 彰一	黒岩 敏行	石野 時久	佐藤 鈴江	土屋 幸雄	松本 幸	伊藤 洋子	大久保 守	大野 克美			
第 4 回臨時会																		
物品購入																		
サーラ嬌恋 一般家具・什器備品の購入。	11	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の変更																		
サーラ嬌恋（旧嬌恋会館）建設工事 外構工事の請負契約の変更。	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	退	○
工事請負契約の変更																		
サーラ嬌恋（旧嬌恋会館）建設工事（電気設備工事）の請負契約の変更。	1	10	否	×	×	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	○	×

議案の審議結果

議案名	議員名等	賛成	反対	議決結果	1 黒岩 智未	2 土屋 哲夫	3 伊東 正吾	4 下谷 彰一	5 黒岩 敏行	6 石野 時久	7 佐藤 鈴江	8 土屋 幸雄	9 松本 幸	10 伊藤 洋子	11 大久保 守	12 大野 克美
第5回定例会																
婦恋村教育委員会委員の任命同意 ----- 任期満了に伴い、再任することについて同意するもの。		11	0	可	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○
令和6年度一般会計歳入歳出決算認定		10	1	可	○	○	○	○	○	○	—	○	○	×	○	○
令和6年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定		10	1	可	○	○	○	○	○	○	—	○	○	×	○	○
令和6年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定		11	0	可	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○
令和6年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定		11	0	可	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○
令和6年度簡易水道事業会計決算認定		11	0	可	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○
令和6年度上水道事業会計決算認定		11	0	可	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○
令和6年度下水道事業会計決算認定		11	0	可	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○
令和7年度一般会計補正予算（第2号）		10	1	可	○	○	○	○	○	○	—	○	○	×	○	○
令和7年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）		10	1	可	○	○	○	○	○	○	—	○	○	×	○	○
令和7年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）		11	0	可	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○
令和7年度介護保険特別会計補正予算（第1号）		11	0	可	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○
婦恋村行政手続きにおける個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の全部改正 ----- 個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関しては、「行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」第9条第2項の規程により条例で定めておく必要があるため、条例の全部を改正。		11	0	可	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○
婦恋村税条例の一部改正 ----- 地方税法の一部を改正する法律により地方税法が改正されたことに伴い、条例の一部を改正。		11	0	可	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○
婦恋村地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部改正 ----- 婦恋村地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律第26条の地方公共団体等を定める省令の改正に伴い、条例の一部を改正。		11	0	可	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○
婦恋村介護保険条例の一部改正 ----- 今井辺地について、生活環境の向上を図るため辺地総合整備計画を変更するもの。		11	0	可	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○
物品購入 ----- 第7分団可搬消防ポンプ付きワンボックス型積載車の購入。		11	0	可	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○

※ 可・・・可決、否・・・否決、○・・・賛成、×・・・反対、欠・・・欠席、退・・・退席

※ 議長は採決に加わりませんので、「—」で表示しています。（議長 7番 佐藤 鈴江）



優勝した大笹4の皆さん

優勝は大笹4

第26回嬬恋村議会議長杯 ゲートボール大会

9月19日、総合グラウンドで開催され、20チーム
が参加しました。
結果は次のとおりです。

優 勝	大笹 4
準優勝	干俣 1
三 位	鎌原 3



議 会 日 誌

7月

31日 第6回議会運営委員会

8月

7日 第4回議会臨時会

21日 市場視察

～22日

26日 第7回議会運営委員会

9月

1日 第5回全員協議会

第5回定例会本会議（開会）

2日 第6回全員協議会（第1日）

4日 第6回全員協議会（第2日）

8日 本会議（第2日）

第3回総務文教常任委員会

第3回産業建設常任委員会

第2回村活性化対策特別委員会

12日 本会議（最終日）

第5回議会広報編集委員会

29日 第6回議会広報編集委員会

サーラ嬬恋竣工式



令和5年度から建設が進められていたサーラ嬬恋の竣工式が10月1日に開かれ、村議会議員ら関係者138名が出席しました。

● 議会を傍聴してみませんか。 ●

傍聴の手続きは簡単で、傍聴当日に議場の傍聴人受付票に必要事項を記入し、投函していただくだけです。ぜひ、傍聴してみてください。

次回定例会の予定／

● 令和7年12月2日(火)～12日(金) 午前10時開議 ●

編集後記

9月議会は決算議会であり、決算書の最後に実質収支に関する調書という項目が出てまいります。これは平たく言えば一年間の収支の額を表したものであります。6年度は約6億強のお金が残りました。執行率は93%であります。その内支払いに使わなくてはならない額が2億円で残ったお金が約3億円強です。そのお金もサーラ嬬恋の建設費に充てなくてはなりません。そんなこんなで、村民の皆様にお約束した事柄（執行率）が100%出来なかつた訳であります。

また、いよいよサーラ嬬恋が竣工致しました。年間の管理費用が約1700万円から2000万円掛かるとの試算であります。サーラ嬬恋は皆さんも感じておられると思いますが、収益を上げられる建物ではありません。と言っても管理費用の足しになるようにしてはなりません。施設の利用方法に依つては有償無償となりますが、多くの村民の方々が利用して頂く事を心よりお願い申し上げます。

大久保 守

議会広報編集委員会

委員長 黒岩 敏行

副委員長 大久保 守

委員 石野 時久

土屋 幸雄

松本 幸

